

競技上の注意（団体戦）

審判長：八百野 真人

<ルールについて>

- 1 現行の日本卓球ルールを適用する。
- 2 タイムアウト制を採用する。ただし、1マッチに1回、1分以内を厳守すること。
- 3 公認のユニフォームを着用し、チームで統一する。また、日本卓球協会ゼッケンを着用すること。
- 4 競技方法は予選リーグ・決勝トーナメントともに4単1複の3点先取。ダブルスで出場する選手はシングルスにも出場できるが、1・2番同士の組み合わせでダブルスに出場することはできない。
- 5 新型コロナウイルス感染症対策として、本大会は次の事項を設ける。
※二重下線部は、前回大会からの変更点（緩和）です。
 - (1) 試合前後の握手などの身体を接触させる挨拶は行わない。
 - (2) ダブルス・シングルスともチェンジエンドを実施する。
 - (3) 複数コートのボールの混在を避ける。
(ボールが競技領域外に出た場合、選手自身で拾いに行き、他コートの選手等が拾わない。)
 - (4) 大会中に大きな声で会話、応援等をしない。
 - (5) 競技中以外はマスクを必ず着用し、ソーシャルディスタンスを保つ。

<進行について（別紙）>

- 1 タイムテーブルをもとに、放送によって試合コートを指定して進行する。
(あくまでも試合予定時刻の目安である。また、当該コートでの実施とは限らないため、放送に注意。)
- 2 オーダー提出は、1日目10：00試合予定の学校は9：30までに、2日目9：45試合予定の学校は9：20までに、第2試合以降は対戦予定校が決定次第、速やかに本部へ提出すること。
- 3 原則、相互審判とする。その他、本部の指示に従うこと。
- 4 1日目は男女とも予選リーグの全試合、および男女1位トーナメントのベスト8決定、男子2～3位トーナメントベスト4決定、女子は最後まで実施する。
2日目は1位トーナメントのベスト8校による順位決定リーグ戦の全試合を実施する。
- 5 進行の状況によって、展開台数や試合順序を変更して実施することもある。その場合は、別途本部より指示する。

<予選リーグ・順位決定リーグについて>

- 1 試合順序は、始めにシングルス2試合、次にダブルス、終わりにシングルス2試合とする。ダブルスと同時に4番シングルスが実施できる場合は2台展開により実施してもよい。
- 2 オーダーの上から順に3点が決まった時点で、残りの試合は終了すること。(4番によって3点が決まった場合でも、1～3番が終了していない場合はその試合が全て終了して試合記録とする)